



# 週報

Rotary  
OITA JOSAI, 2720



会長 山本真一  
幹事 吉岡尚美

国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレツツォ  
第 2720 地区ガバナー  
藤田 千克由  
大分第 4G ガバナー補佐  
森永 隆二



よいこのために  
手をとりあおう

## 大分城西ロータリークラブ

クラブ スローガン 「つながろう、クラブの未来のために！」

地区スローガン  
みんなでつなぐ、育てる、  
ロータリーリレーションシップ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

出席報告	12月10日					例会日	水曜日	12:30~13:30	編集担当	12月	中山省悟
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビジター		例会場	ホテル日航大分アビスタ		1月	河野浩二
	27名	18名	69.23%	0名	0名		ホームページ	<a href="http://oitajosairotaryclub.com">http://oitajosairotaryclub.com</a>		2月	衛藤祐介

事務局 〒870-0021 大分市府内町キハ会館 4 階 TEL 097-532-0611 FAX 097-532-8386 Eメール [oitajosairc@mist.ocn.ne.jp](mailto:oitajosairc@mist.ocn.ne.jp)

2025-2026		第 18 回例会		12 月 14 日		No.1613		疾病予防と治療月間	
◆本日のプログラム									
	17：30	点鐘							
		ロータリーソング「まわせ歯車」							
		ゲスト・ビジターの紹介		山本真一 会長					
		会長の時間		山本真一 会長					
		出席報告及び幹事報告		吉岡尚美 幹事					
		ロータリー情報		R 情報担当委員					
		委員会報告		各 委 員 会					
		スマイルボックス		会 員 各 自					
	17:45	クリスマス家族例会		司会 原田隆雄会員					
		開会の挨拶		山本真一会長					
		乾杯		伊東眞知子直前 会長					
		～食事・歓談～							
		ゲーム							
		大魚釣り大会		未就学児対象					
		メリーけん玉バトル		テーブル対抗					
	サンタ登場 子供達へのプレゼント								
		山本会長とじゃんけん大会		全員					

		ロータリーソング「手に手つないで」							
		いやさか				廣瀬舜一会員			
	19:55	閉会							
◆今後の例会予定									
	●12月24日	定款第 7 条第 1 節に基づき例会取りやめ							
	令和 8 年								
	● 1月 7 日	新春合同例会 トキハ会館 5 階ローズの間 開会 12:00 (登録開始 11:30)							
	● 1月 14 日	定款第 7 条第 1 節に基づき例会取りやめ							
◆職業奉仕3分スピーチ									
	本日はありません。								
	(今後の予定)								
	1/21 吉岡会員								

### ◆今週のお祝い (12月14日)

#### ●創立記念日

佐藤憲幸 会員 (株)アクティブコミュニケーションズ H14 年 12 月 20 日(23 年)

●結婚記念日			
伊東眞知子会員	S49 年12月 20 日	佐藤憲幸会員	H12 年1月 1 日
●配偶者誕生日			
高木昭信会員	美智穂夫人1月 11 日		
●会員誕生日			
河野浩二会員	12 月 31 日	佐藤憲幸会員	1月 15 日
原田隆雄会員	1 月 9 日	芳崎一郎会員	1月 19 日
◆ゲスト・ビジターの紹介(12 月 10 日)			
●ゲスト なし			
●ビジター なし			
◆スマイルボックス(12 月 10 日)			
木下光一会員 5 口			
ロータリーの友 12 月号と 1 月号にわたって 2018 年に RI の研修リーダーをつとめた 3 名での鼎談が掲載されております。現時点でのそれぞれのロータリー観が表れているので面白かったです。ご笑覧いただければ幸いです。記念にスマイル 5 口いたします。			
伊東眞知子会員 1 口			
結婚記念日のワインが届きました。51 年経ちました。よく頑張ってきたと思います。有り難うございました。1 口申告します。			
◆ロータリーの友 12 月号紹介 神野寛明会員			
P5 特集 ロータリー談義 3人寄らば、何とやら？話に花を咲かせましょう			
P67 SPEECH 中村安秀 日本生まれ、世界育ちの母子手帳 ～黒潮が教えてくれた世界の歩き方～			
◆幹事報告(12 月 10 日) 幹事 吉岡尚美			
①本日、1月の例会出欠回覧をまわしております。 1月は 7 日が新春合同例会、21 日が通常例会、30 日(金)は大分南 RC との合同親睦夜例会です。 今年度の当番クラブより、新春合同例会の出席人数をなるべく早めに知らせてくださいとの連絡がきておりますので、本日必ず出欠のご回答をお願い致します。			
②1/7(水)は新春合同例会となっております。 会場はトキハ会館 5 階ローズの間、時間は 12:00～14:00(11:30 登録開始)となっております。本日は皆様に新春合同例会のプログラム(案)を配布しております。会場や時間が記載されてますので、ご確認をお願い致します。			
③RLI パートⅢ開催のご案内がきております。 日時:1 日目 2026 年2月 21 日(土) 受付 12:30 開会 13:00～17:30 2 日目 2026 年2月 22 日(日) 受付 9:00 開会 9:15～12:00			
※2 日間全セッションを受講しないと修了証は発行できません のでご注意ください。 対象者は会長、幹事、会長エレクト、次年度幹事予定者、地区出向委員及び会員希望者となっております。 詳細は本日回覧しておりますのでご確認ください。			

④12/14(日)はクリスマス家族例会です。  
17:30～オアシス 21 階エトワールにて開催致します。  
開始時間を間違わないようご注意ください。

◆会長の時間（12 月 10 日） 会長 山本真一

【12 月・1月の活動予定】

12 月3日 通常例会(年次総会)  
12 月8日 増強会議  
12 月 10 日 通常例会(クラブ協議会)  
12 月 14 日 クリスマス例会  
R8  
1月7日 新春合同例会  
1月 17 日 ロータリー麻雀大会  
1月 21 日 通常例会  
1月 30 日 夜例会(大分南と合同)

佐賀関火災について

🔵 概要と被害状況

- ・火災は 2025 年 11 月 18 日夕方、大分市佐賀関 で発生。
- ・被害は甚大で、住宅や空き家など 187 棟が焼損。
- ・焼失面積は約 48,900 m<sup>2</sup>(約 4.9 ヘクタール) にのぼる。
- ・この規模は、震災による火災を除くと、日本国内で約 50 年ぶりの大都市火災規模と報告されている。
- ・死者は 1 人、負傷者や被害を受けた住民も多数。
- ・火災は山林や近くの無人島(蔦島)にまで延焼。島への飛び火という、非常にまれなケースだった。

✅ 鎮火と現在の状況

- ・発生から 17 日目の 2025 年 12 月 4 日、市の災害対策本部は「完全鎮火」を発表。蔦島を含め火の確認はなくなった。
- ・ただし、焼けた建物の跡地やがれきが残る地域では、強い風の日にはがれきが音を立てるなど、火災の爪痕が今も残っている。復旧・復興への道のりはこれからだ。避難所として使われていた施設(例:佐賀関公民館)は引き続き整備され、被災者の支援窓口として機能中。

🏠 被災者支援・生活再建の取り組み

現在、以下の支援・対応が進められている。

- ・被災世帯に対する 罹災証明書／被災証明書の交付 が開始。全焼・半焼など被害状況に応じて対応。
- ・仮住まいや応急修理、公費解体などの制度が整備され、申請受付中。
- ・支援金(被災者生活再建支援法 による制度対象)などの案内も出されている。
- ・災害ごみの処理、集積場運営、ごみ収集の替え対応など、生活インフラの復旧も並行。

また、復興に向けた動きも開始されており、公共住宅や賃貸アパートの仮住まい提供、応急的な住宅修理、将来的には再建の見通しに関する説明会も行われている。

ロータリーは、佐賀関火災の支援を予定しています。本日は閲覧しています。

☀ 災害義援金と寄付金のちがいは

災害義援金 ➡ 災害でこまっている人に そのままお金がわたる

たとえば…

- ・家がこわれた人
- ・ケガをした人

などに「お金」が配られる  
寄付金 ➡ 「団体」が使い道を考えて使うお金  
たとえば…

- ボランティアの活動費
- 食べ物や水の購入
- 避難所の運営などに使われる

一言でいうと

- 義援金＝困っている人に直接届くお金
- 寄付金＝困っている人を助ける活動に使うお金

「災害義援金」と「寄付金」は、どちらも人を助けるためのお金ですが、使われ方が違います。

まず、災害義援金は、災害で被害を受けた方に、直接お金として届けられるものです。家が壊れた方や、生活に困っている方に配られます。つまり、お困りの人の手元にそのまま届く支援です。一方で、寄付金は、団体やボランティアが活動するために使われます。避難所の運営や、食べ物や物資の購入、救援活動の費用などに使われます。つまり、困っている人を支える活動を助けるお金です。まとめると、義援金は「人に届くお金」、寄付金は「活動に使われるお金」という違いがあります。どちらも大切な支援であり、目的に応じて選ぶことが大事です。

◆委員会報告 会員増強委員会 佐藤憲幸会員

会員増強スタートダッシュのご案内  
日時：2026 年 1 月 19 日(月)19 時～  
場所：未定(決まり次第お知らせ致します)  
会費：5,000 円程度

◆クラブ協議会 「上期の反省下期の取り組み」

クラブ協議会「上期の反省と下期の取り組み」

SAA	佐藤俊治
クラブ運営	芳崎一郎
親睦	原田隆雄
プログラム	園田哲史(芳崎委員長代読)
R 情報	工藤隆(芳崎委員長代読)
危機管理	山本真一
公共イメージ向上	眞上晋
I T	眞上晋
クラブ会報・雑誌	衛藤祐介(眞上委員長代読)
会員増強	岩田和久(中村委員代読)
職業奉仕	河野浩二
社会奉仕	伊藤秀海(中山委員代読)
社会奉仕	中山省悟
青少年	神野寛明
環境保全	二宮浩司
国際奉仕	高木昭信
国際奉仕	寺崎直史
R 財団	岩尾隆志
米山記念奨学会	伊東真知子

以上の各担当者より、上期の反省と下期の取り組みについて発表していただきました。